



こうさぎ組をお部屋まで案内

ひかりのこつうしん

No. 1

「ご入園、ご進級おめでとうございます！f」

ひかりの子幼稚園

2023 年 4 月 26 日

新しい年度が始まりました。コロナ禍の様々な制約が緩和され、やっと日常が戻ってきた感じがします。文部省の方針も変わり、学校や園内ではマスク着用の必要がなくなり、5月8日からは新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが変更となるため、インフルエンザと変わらない感染症になります。この日を契機に園でもブレインへの体温入力を任意と変更させていただきます。今までご協力ありがとうございました。

マスク越しの目だけではお友達のお互いの気持ちを読み取る力と、心がなかなか育ちません。これからはお互いに笑顔で、言葉を交わせる喜びを大切に過ごしていきたいと思います。

始園の日、今までおうちの人と門前で離れがたくて、お部屋まで一緒に行っていた元こうさぎさんが「こぼとさんになったから、もう一人でお部屋まで行く！」とひとつ大きくなったことを自覚し、スタスタとクラスまで歩いて行く姿に感動しました。



同じクラスのお友達と

全園児登園日の後日談、ある年長さんのエピソードです。夜お布団の中で「明日もこうさぎさんが今日みたいにすごく泣いて、バスに乗りたくないと言ったらどうする？」とお母さんが聞くと「ひかりの子幼稚園は、楽しいところだから大丈夫だよって言ってあげる！」と言ったそうです。彼も長い間バスに乗ることをためらう時期があったお子さんです。彼なりに小さい子が泣きながら乗車してくることに、かつての自分の姿を重ね合わせ、自分ができることを考えていたのだと思います。彼の成長がとてもうれしい出来事でした。

何もかも初めてのこうさぎ組にとって、毎日の幼稚園での活動はとても興味深いものだと思います。そんな中でも礼拝の時間は全く初めて経験するものです。大好きな先生が「今から礼拝を始めます」と静かに前奏を弾き始めます。讃美歌を歌ったり、神さまの御言葉をみんなで覚えたりする中で、「神さまはみんなのことが大好きで、いつも見守ってくれている人」であることが少しずつわかるようになっていきます。こうさぎ組のお母さまが伝えてくださったこと・・・「昨夜、家で車を一列に並べながら遊んでいる時、『車が礼拝してるねん！！』と子どもが言っているのを聞いて驚きました。既に幼稚園の活動が、生活の一部となってきたようです。」・・・と。彼がおうちで車を並べて遊んでいる光景が、目に浮かびました。

見えない神さまの愛を子ども達に知らせるのは大変難しいことですが、聖書やイースター、卵さがしなどの行事を通して、日々の生活の中で、見えない神の恵みを感じ、神の導きに信頼して、幼児なりの信仰を持つことができるようになっていくのだと思います。

今年度もクラス懇談会を予定しています。子ども達の4、5月の様子を写真や動画を見ていただきながら、担任からクラスの様子をご報告した後、グループディスカッションをいたします。人と交わったりお話する機会を制限された数年間でしたが、悩みを共有したり、自分の気持ちを人に聞いてもらうことで、一歩前に進めることができますね。「つながって生きていくこと」の大切さを改めて実感しています。お子様の成長をおうちの方と共に、喜び合えるクラス懇談会になりますようにと願っております。どうぞ万象繰り合わせてお越しく下さい。